



研究テーマ

- 1 各種感染症に対する検査法や治療法の開発を目指した臨床研究
- 2 地域医療への貢献を目指した肺炎の疫学研究
- 3 難治性真菌感染症の病態解明と創薬研究

研究概要

高齢化や先進医療の発展に伴い、感染症への対策が重要な課題となっています。細菌、ウイルス、真菌など様々な原因微生物によって引き起こされる感染症に対して、「簡便、迅速、高精度の診断法の開発」と「有効な予防及び治療戦略の開発」を2大テーマとして、基礎研究及び臨床研究に取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症のような感染症災害に対しても即座に対応できる感染症研究のプラットフォームの構築を目指します。

宮崎 泰可

みやざき たいが
医学部
医学科

内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野

教授
キーワード

感染症
肺炎
真菌症
病原因子
薬剤耐性
診断法開発
治療法開発
創薬研究
バイオマーカー
臨床試験

特許情報・
共同研究・
応用分野など

下記のような疾患を対象としたレジストリ研究や臨床研究を実施しています。人獣共通感染症、ダニ媒介感染症、各種真菌感染症、寄生虫症、中枢神経系感染症

1 各種感染症に対する検査法や治療法の開発を目指した臨床研究

(1) 地域に関連した感染症の病態解明と疫学調査、レジストリ研究

宮崎県に多いSFTSの他、人獣共通感染症、ダニ媒介感染症、各種真菌感染症、寄生虫症、中枢神経系感染症などを対象として、臨床データや臨床サンプルを収集し、病態の解明および新たな診断法と治療法の開発を目指した臨床研究・基礎研究を行っています。

(2) 肺炎の原因診断や臨床経過予測に有用なバイオマーカーの探索

九州内の多施設共同前向き試験で、成人の市中発症肺炎の症例を登録し、原因微生物の推定や臨床経過・予後予測に有用なバイオマーカーの探索を行っています。

2 地域医療への貢献を目指した肺炎の疫学研究

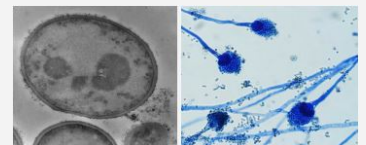
肺炎は生命を脅かす疾患であるとともに、一度発症すると、たとえ治療で改善しても長期にわたり生活の質(QOL)を低下させます。

市中肺炎の原因菌として最も多いのが肺炎球菌です。地域ごとに異なる肺炎球菌血清型の分布を調査し、肺炎球菌ワクチンの意義を科学的に評価して、効果的な肺炎予防の方策を提案します。



3 難治性真菌感染症の病態解明と創薬研究

侵襲性真菌感染症は治療薬が限られており、予後不良疾患です。有効な治療法の開発を目指して、カンジダやアスペルギルス、クリプトコックスの分子生物学的研究と臨床研究を行っています。



ホームページ

宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/resprheuminfecneur9640/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・ 感染症臨床研究の立案、実施
- ・ 病原真菌の分子生物学的解析

メッセージ

基礎と臨床の相互フィードバックで相乗効果を生み出すために、多分野連携による研究体制の構築を目指しています。